

# 福島県いわき市

【計画期間 平成29年4月～令和5年3月】

・昭和41年に14市町村の合併により誕生。福島県全体の約8.9%を占める広大な市域を有する。  
 ・合併後は石炭産業から製造業へ順調にシフトし、東北有数の工業都市に成長。  
 ・平成23年の東日本大震災では生活基盤、産業基盤に甚大な影響が及んだが、被災地区の再生に向けたまちづくりが進むとともに、復興関連事業が進行。  
 ・人口 350,237人(平成27年国勢調査) 面積 1,232.02km<sup>2</sup>

## 【中心市街地を巡る状況】

- 人口減少、高齢化の進展によりコミュニティが弱体化している。
- 郊外への大型店の出店や低未利用地の集積などにより、商業・業務活力が低下している。
- 歴史的な文化資源の存在に加え、都市福利施設などの整備を積極的に進めてきたが、歴史や文化の豊かさは市民にはあまり実感されていない。

## 【中心市街地に関する指標の推移】

- 居住人口  
平成20年:4,612人⇒平成28年:4,133人(▲479人、▲10.4%)
- 小売業年間販売額  
平成9年:627億円⇒平成26年:247億円(▲380億円、▲60.6%)

目標	目標指標	基準値	目標値
生活環境の充実による まちなか居住の促進	中心市街地内の 居住人口	4,133人 (H28)	4,400人 (R4)
新規出店の促進による 事業活動の活性化	中心市街地内の 新規出店数	26件 (H23-H27)	52件 (H29-R4)
歴史・文化資源を活かした 賑わいの創出	主要歴史・文化施設 の入込客数	1,226,198人 (H27)	1,263,000人 (R4)

## 【目指す中心市街地像】

**人、暮らし、文化を大切にす豊かさと活力とを備えた中心市街地**

### 生活環境の充実による まちなか居住の促進

- 【主要事業】
- ・都市公園整備事業
  - ・(仮称)平並木通り地区市街地再開発事業
  - ・いわき都心型住宅整備事業
  - ・田町・新川町線歩道整備事業
  - ・田町・谷川瀬線交通安全施設整備事業
  - ・まちなか循環バス運行検討事業

### 新規出店の促進による 事業活動の活性化

- 【主要事業】
- ・地域密着型商業施設整備事業
  - ・まちなかを活用した起業家支援事業
  - ・城下町景観づくり事業
  - ・リノベーションまちづくり支援事業
  - ・まちづくり基金の活用事業
- など

### 歴史・文化資源を活かした 賑わいの創出

- 【主要事業】
- ・いわき芸術文化交流館自主企画事業
  - ・いわき市立美術館と連携した文化芸術普及促進事業
  - ・伝えたい誇れるいわき醸成事業
  - ・磐城平城本丸跡地に関する活用事業
  - ・都市公園整備事業(再掲)
- など

# いわき市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 生活環境の充実によるまちなか居住の促進

### ①都市公園整備事業

磐城平城本丸跡地を本市の歴史と文化を感じることができる公園として整備すると共に、地区内の既存公園・緑地を安全で快適な歩行空間機能やまちなかにおける交流拠点機能を有する公園として再整備し、まちなかの魅力創出を図る。

### ②(仮称)平並木通り地区市街地再開発事業

医療機関・公共公益施設・駐車場・ホテルなどの都市機能及び住宅(分譲マンション)を整備し、まちなか居住のための住宅の供給とともに都市機能の充実を図る。

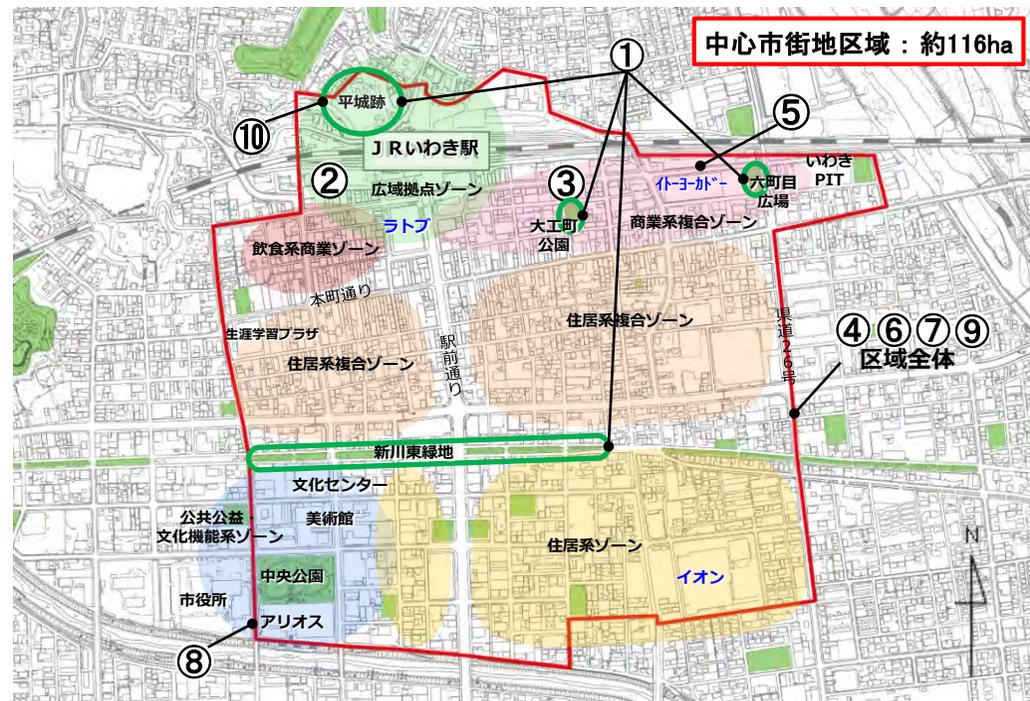
### ③いわき都心型住宅整備事業

商業や福利機能を複合した住宅を整備し、住宅の供給と都市機能の充実を図り、子育てしやすく、高齢者にとってもやさしいまちづくりの推進や、生産年齢人口世帯の定住を促進する。



### ④まちなか循環バス運行検討事業

歩いて回遊するには困難な主要施設をバスで繋ぐことで、未成年者や高齢者等の交通弱者が歩いて暮らせるコンパクトシティの実現を目指す。



## 新規出店の促進による事業活動の活性化

### ⑤地域密着型商業施設整備事業

福祉・業務・サービス等の複合的な利便を供与できる地域のコミュニティ施設として、イトーヨーカドー平店をリニューアルするとともに、周辺地区の商業機能の強化を図り、まちなかに回遊性と賑わいを創出する。

### ⑥まちなかを活用した起業家支援事業

遊休不動産を活用して、新規創業をサポートする低コストのインキュベーション施設を開発し、起業家育成の環境を整備することにより、持続的な雇用機会の創出やターン者への就業機会の創出を図り、経済活動の育成と活性化を図る。

### ⑦リノベーションまちづくり支援事業

「リノベーションまちづくり」を知る機会を提供することで、地元商業者や創業予定者がリノベーション事業を学び、空き店舗等を活用したまちづくりに参加するきっかけを作り、事業化へつなげ、民間による活発な事業活動の促進を図る。

## 歴史・文化資源を活かした賑わいの創出

### ⑧いわき芸術文化交流館自主企画事業

アリオスに足を運ぶことのできない子ども達や地域の人たちのために生の演奏を届ける「アウトリーチ活動」、舞台芸術による「人材育成・交流事業」等の事業を実施することにより、賑わいの創出と文化芸術の発展を促進する。

### ⑨伝えたい誇れるいわき醸成事業

いわきの歴史・文化・伝統等の継承のため、歴史冊子の作成や地域学の開講、コミュニティ放送による情報発信、市民文化遺産制度の検討等を実施することにより、市民の誇りを醸成するとともに、市民や来街者に個性あるまちなかの魅力を提供する。

### ①都市公園整備事業(※再掲)

### ⑩磐城平城本丸跡地に関する活用事業

城下町であった地域の歴史文化を広め、その象徴的存在として磐城平城本丸跡地を活用することで、子や孫の世代を見据えたまちづくりを推進する。

